

美里町で学生調査員と教員が生活実態調査 美里町第2次振興計画・後期基本計画策定に向け 350世帯を戸別訪問 住民に聴き取りを実施



熊本学園大学社会福祉学部の学生・教員が、2月25日(火)～3月1日(日)の6日間、熊本県美里町の生活実態調査として約350世帯を訪問し、住民に聴き取り調査を行います。

これは、本学と美里町との包括的連携協定に基づき、同町の委託を受け実施するもので、2020(令和2)年度の美里町第2次振興計画・後期基本計画の基礎資料となるものです。本学としては、社会福祉学部の高林秀明教授(専門:地域福祉論)が代表となり、仁科伸子教授(専門:社会福祉学)、岡村ゆかり特任助教(専門:相談援助専門職論)と研究を進める『美里町の地域生活および持続可能な中山間地域のまちづくり』のための課題分析を行うことが目的です。

調査内容の柱は、①生活課題 ②地域課題 ③地域活動の実態 ④行政施策への意見で、具体的には、生計中心者の仕事や居住年数、これからの居住意思、地域活動への参加状況、日頃の相談相手、くらしの面での困りごとや不安、健康状態などで、地域の課題および行政として取り組むべき施策についても自由意見を収集します。調査員は、社会福祉士や精神保健福祉士をめざす学生有志20名と、社会福祉協議会など福祉現場で勤務する卒業生5名、教員3名が務める予定で、対象地区を一軒ずつ訪問し、調査票をもとに対話を通じて聴き取りを行います(一世帯当たり約40分)。学生調査員は事前に調査における留意点などについて講習を受けており、対象者の人権の尊重、調査データの厳重な管理などへの配慮も徹底して行われます。

現地調査後は、結果の集計と分析を実施し、同町へ報告書を提出、のちに美里町振興計画審議会にて結果報告を行います。また、2020年度内にデータの詳細な検討・分析を進め、研究課題に関する論文としてまとめられる予定です。よろしければ取材いただきますよう、ご案内申し上げます。

<美里町生活実態調査 概要>

- 実施日 2020年2月25日(火)～3月1日(日) 9時～17時
※調査期間中の初日(2月25日)のみ取材日として公開いたします。
25日は午前10時40分から「元気の森かじか」(下記)で調査員の説明会、
午後は美里町内の複数の地区の各世帯を訪問し、聴き取り調査を実施
- 場 所 <調査員拠点>美里町やすらぎ交流体験施設 元気の森かじか(美里町払川1675)
- 対 象 美里町住民 350世帯
- 調査員 本学社会福祉学部 学生有志20名、福祉現場に勤務する卒業生5名、教員3名
- 連携先 美里町企画情報課政策企画係

本リリースについてのお問合せ(取材ご希望の方は事前にご一報ください)

熊本学園大学 広報室 TEL:096-364-8722(直通) Mail:koho-kgu@kumagaku.ac.jp



熊本学園大学 プレスリリース等メディア情報一覧

<https://www.kumagaku.ac.jp/news/archives/category/media>